

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

313号

2017年3月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 朴槿恵弾劾審判の日 ～キャンドル革命からの序章～

200万の怒りのキャンドルが、国会で大統領の弾劾を決議させて2カ月余りが経過したが、真相究明の協力を表明していた朴槿恵は、特別検察(特検)の聴取に一切応じず、憲法裁判所(憲裁)の弾劾審判の公開弁論も出席を拒否している。一度に39人の証人を申請して時間稼ぎをしたり、「弾劾反対! 特検解体!」の大極旗デモを組織するなど、必死の抵抗を続けている。

しかし、弾劾決議以降も衰えないキャンドルに背中を押された特検は、着々と捜査を進め、憲裁は2月27日に最終弁論をし、3月10日頃に審判が決定する見込みだ。弾劾が容認されれば5月初めに大統領選挙が実施され、現情勢では野党候補が優勢だ。しかし、何が起きるのかわからないのが韓国の大統領選挙だ。権力者は簡単には権力を放棄しない。

憲法裁判所の審判の日まで、韓国情勢は非常に緊迫した局面を迎えている。

### ●三星神話の崩壊

「朴槿恵・崔順実ゲート」の核心が、ミル財団、Kスポーツ財団だ。大統領の私設財団に、7大企業が何故774億ウォンもの献金をしたのか。財団設立後、7大企業の懸案問題が次々と解決した。SK、CJの総帥は赦免され、現代自動車の労使紛争は政府の強行介入で解決した。そして、204億ウォンという最大の献金をした三星は、三星物産と第一毛紡の合併で巨額の富を得たのだ。第一毛紡の大株主(42%)の李副会長が、第一毛

紡の株価を三星物産の3倍に見積もった合併案に、三星物産の株主が異常で不当な合併だと猛反対していたが、当初反対していた最大の株主である国民年金が一転賛成し、合併は成立した。この合併により国民年金は、581億ウォンもの損失を出している。そして、これ以降、三星は大韓乗馬協会を通じ崔順実への支援を開始し、2020年まで186億ウォンの支援をする予定だった。その李副会長がついに逮捕された。



▲朴槿恵退陣を求めデモをする韓国民衆

「法の上に君臨」する三星は絶対に逮捕されないという三星共和国の神話が崩れた。「政経癒着を清算しろ!!」というキャンドルが、また新しい歴史をつくった。

### ●キャンドル革命の序章

弾劾審判が下りれば、朴槿恵は退陣となる。大統領が任期途中で退陣するのは1960年の4月革命以来だ。弾劾審判の日、2017年3月はキャンドル革命の日として、永く歴史に記憶されるだろう。しかし再発防止のためには、朴槿恵のみならず、政権を支えてきた軍事独裁政権時代からの既得権勢力(財閥、高級官僚、保守言論)を一掃しなければならない。全斗煥(チョン・ドゥファン)や盧泰愚(ノ・テウ)のように曖昧に幕引きをしてしまう愚を繰り返してはいけない。

朴槿恵退陣はキャンドル革命の序章だ。第二章は政権交代、キャンドル革命は進行し、最終章は祖国統一だ。祖国統一が実現し、統一祖国と日本が互惠平等の関係になるまで、キャンドルは続くだろう。韓国は今大きく変わろうとしている。

(隆)

## 日本最大の繁華街 新宿で 朴槿恵退陣・逮捕を訴える！

### 韓統連 新宿キャンドルデモ

朴槿恵大統領の早期弾劾と退陣、関連者の拘束などを求める声が高まる中、韓統連中央本部主催で「朴槿恵退陣・逮捕！キャンドルデモ」が2月4日（土）、東京都JR新宿駅前で開かれ、韓統連大阪本部メンバーも全国の仲間と共に参加した。



▲キャンドルデモを通じ、朴槿恵退陣を訴える

出発集会では、孫亨根（ソン・ヒョンゴン）韓統連中央本部議長が主催者挨拶を通じて「憲法裁判所の弾劾審理と特別検察官チームの調査を妨害し、時間稼ぎをしながら、なんとかこれを切り抜けようとする朴槿恵大統領を許すことはできない」と強調、「キャンドルデモに示された国民の力で即刻退陣をかちとり、逮捕しなければならない」と主張した。

その後、参加者はデモに移り「朴槿恵は即刻退陣しろ！」「憲法裁判所は朴槿恵を弾劾しろ！」「朴槿恵の不正を清算しろ！」とスローガンを叫び、合わせて韓米合同軍事演習の中止や韓日「慰安婦」合意の破棄も求め、通行中の市民にキャンドルデモへの支援と連帯を訴えた。

## 進歩的政権交代を実現し、 祖国の平和・統一を実現しよう！

### 韓統連第16期代議員大会

韓統連第16期代議員大会が2月5日（日）、中央大学駿河台記念館（東京都千代田区）で開催された。

代議員大会では、2016年度運動総括を承認した後、①保守体制を打破し、政権交代を実現し

よう。②「祖国の平和と統一、南北関係発展のための全民族大会」を成功させよう。③米国は対北敵視政策をやめ、朝米対話を開始せよなど6項目からなる運動方針案と、情勢展望に対する活発な質疑・討論をまじえて、満場一致で採択した。また、代議員大会を3年に1度の開催とする規約改定案と予算案が承認された。

執行部総辞職後の役員改選では、新議長に孫亨根前議長が選出されるとともに、副議長には郭元基（カク・ウォンギ）、姜春根（カン・チュングン）、朴南仁（パク・ナミン）、宋世一（ソン・セイル）前副議長が再選された。最高顧問には郭東儀（カク・トウイ）先生が、顧問には郭永文（カク・ヨンムン）、郭秀鎬（カク・ソ）前顧問が引き続き推たいされ、監査委員長には孫京煥（ソン・ギョングァン）前委員長が再選された。



▲議長就任挨拶をする孫亨根議長

孫議長は就任挨拶で▲平和と統一を目指す大統領選出のための政権交代、▲6・15民族共同委員会の強化と祖国での全民族大会の開催、▲国家保安法の撤廃、▲朝鮮戦争の平和協定締結の4項目を「3カ年目標」として提示。「この目標を必ず実現し、目前に迫った統一に向けて前進しよう」と訴えた。

そして、韓統連、韓青、民主女性会、学生協の決意表明が行われた後、スローガンを唱和し閉会した。

## 在日同胞が最も居住する大阪の地から 朴槿恵退陣を訴えよう！

### 韓統連大阪本部第15期定期総会

「韓統連大阪本部第15期定期総会」が2月19日（日）、KCC会館（大阪市生野区）で開催

され、会員及び会員団体代表らが参加した。

総会では、金隆司(キム・ユンソ)代表委員が挨拶を通じ「韓統連は去る2月5日に代議員大会を開き、6項目の運動方針を確認しました。今日の定期総会では、この運動方針を大阪の地で、どのように具体化して活動していくかを論議・確認する場です。活発な討論を通じ確認していきましょう」と語った。



▲代表委員就任挨拶をする金隆司代表委員

続いて、李鐵(イ・チョル)常任顧問、孫亨根中央本部議長の挨拶が行われた後、議案審議に入り、2016年度事業総括案、決算報告、2017年度事業計画案及び予算案の提案が行われ、特に今年度の事業計画として▲早期の大統領選挙が展望されるため、4月に韓統連セミナーを開催、▲光州民衆抗争37周年関西集会、▲春と秋の大衆事業の開催などが提案され、質疑討論を経て満場一致で採択した。

次に執行部が総辞職した後、役員改選が行われ、金隆司前代表委員が継続して代表委員に選出され、姜明寿(カン・ミョンス)、許景民(ホ・ギョンス)、金昌秀(キム・チャンソ)、金昌五(キム・チャンオ)前副代表委員が副代表委員に選出された。監査には夫義澤(フ・ウイギ)前監査、丁恒臣(チョン・ハンス)前監査が再任され、常任顧問には李鐵前常任顧問が継続して推戴された。

金隆司代表委員は就任挨拶を通じ「日本で最も在日同胞が居住する大阪で、自主・民主・統一運動を支持・支援してくれる人を増やし、運動を発展させていかなければならない。今年は特に朝鮮半島情勢は劇的な変化が期待できる。運動と組織の発展のために全力を尽くす」と決意を語った。

その後、学生協、韓青大阪本部、韓統連大阪本

部代表から決意表明が行われ、第15期定期総会は終了した。

## 記念講演、文化発表などを通じ 韓日民衆連帯の絆を深める 連帯の夕べ

昨年から継続される朴槿恵大統領の弾劾をめぐる動きなど、朝鮮半島情勢が激動している中、韓統連大阪本部主催で「連帯の夕べ」が2月19日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開催され、会員及び地域同胞、日本の労働組合・市民団体代表など多数が参加した。

連帯の夕べでは、金隆司大阪本部代表委員の主催者挨拶の後、孫亨根中央本部議長が「激動する朝鮮半島の現状と展望」をテーマに記念講演を行った。



▲「連帯の夕べ」には多くの在日同胞・日本人が参加した

孫議長は講演を通じ「昨年から継続される朴槿恵弾劾・退陣を求めるキャンドル集会は、現在も続いており、審議している憲法裁判所も民衆の要求を無視できない状況にある」と述べ、「韓日民衆が朴槿恵退陣を訴えることは重要なことだ。共に闘っていこう」と訴えた。

記念講演終了後は懇親会へと移り、食事を交えながら歓談を行い、その後、映像資料の上映、韓国のキャンドル革命から生まれた歌、バンド演奏、ピアノ演奏といった文化発表が披露され、懇親会の雰囲気盛り上げるとともに、各団体代表からスピーチが行われ、韓統連大阪本部と共に韓日連帯運動の強化・発展に向けて運動を進めていく決意などが語られた。最後に、金昌秀本部副代表委員が閉会辞を述べ、連帯の夕べは終了した。

## 「補助金裁判」 不当判決を許さない！

朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪 大村和子

1月26日、大阪地裁は大阪朝鮮学園が大阪府・市による「補助金不支給処分」の取り消しを求めて起こした裁判の第1審判決が行われ、大阪府・市の主張を認めた不当判決を下しました。

今号の自主では判決の不当性などについて、大村和子さんに書いて頂きました。

1月26日、大阪地裁で提訴から4年4ヶ月、20回の口頭弁論を経た「補助金裁判」の判決が出された。

大阪地裁(山田明裁判長)は、朝鮮学園の大阪府・市に対する「補助金不交付処分の取消」と「交付の義務付け」「交付対象としての地位確認」等の請求をすべて棄却した。府・市側の主張に沿った不当な判決であった。

裁判所は「補助金」は「贈与」であり「恩恵」のようなもので、支給先の決定や交付要件の提示は「府の裁量の範囲内である」として、不交付は「行政処分」ではなく、学園に「受給する権利」があるわけではないと判断した。

橋下徹前知事のヘイトスピーチに相当する差別発言を契機として、突然提示された補助金交付の条件としてのいわゆる「4要件」や、それを加味した要綱改訂が政治的意図によるものであり、朝鮮学校を狙い撃ちにした不当なものであるという指摘や、大阪市による不交付決定後の要綱改悪などについての不当性、違法性の指摘を認めることはなかった。

それどころか、府が新聞記事による生徒の「迎春公演」参加を取り上げて、交付要綱に「該当しているとの確証が得られない」として不交付の理由としたことを肯定したのである。府側が何かを立証したわけではなく、裁判所が府側の予断と偏見に基づいた主張を認めたといわざるを得ない。

裁判で証人として発言した朝鮮学校の卒業生、保護者、教員、研究者の証言についての言及はなく、朝鮮学校に学ぶ子どもたちの学習権、平等権、そして朝鮮学校の歴史性、社会的役割には一切触れることがなかった。憲法、国際人権規約、子どもの権利条約等で保障されている平等権、学習権、民族教育権、度重なる国連からの勧告についても

言及がなかった。

そして裁判長は無表情なまま「不支給によって学習環境の悪化が懸念されるが、要件を満たしていないのでやむを得ない」と言い切ったのだ。

当夜、「朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪(連絡会・大阪)」の主催する中央区民センターでの「判決言い渡し報告集会」には500人を超える人々が駆けつけた。

弁護団による不当判決についての解説、大阪朝鮮学園と「連絡会・大阪」、韓国の「ウリハッキョと子どもたちを守る市民の会」の声明があり、アピールが続いた。

朝鮮学校卒業生の青年は「補助金の問題は、ただ単にお金の問題ではなく、朝鮮学校の正当性、朝鮮学校という私たちにとってかけがえのない場所を守るための闘いだ」、保護者であるオモニは「私たち

はこれまでどんな困難にも耐え抜き、朝鮮学校を守り抜こうとした先代の同胞たちの背中を見て育った。次は私たちが揺るぎない強い意志を子どもたちに伝える番だ。民族教育を途絶えさせることが無いよう、これからも一層頑張る」等々、憤り、悲しみと共に、さらに闘いを強化していくという強い決意が語られた。

高校無償化からの朝鮮学校除外、馳浩前文科相の補助金に関する自治体への通知などに見られるように、公権力が差別すれば容易に社会に差別が拡散し激化する今の風潮。

だが、何も怯むことはない、大阪朝鮮学園が「控訴し最後まで闘う」と明言すると、支援し、共に闘うという熱い声援が会場いっぱい沸き起こった。翌日「連絡会・大阪」は府・市への申し入れを行った。これからも裁判を支援し勝利を手にするまで闘い続けます。皆さま方のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。



▲裁判所前でマスコミなどに不当判決を訴える

## 【コラム】

## 白頭山の煙

白頭山(ハトウサン)は神秘の山だと言われる。登山道に各種施設も立派に整備されている昔からの有名な山でありながら、人々が抱く白頭山のイメージにはどこか白い霧がかかっている。民族の聖地であると同時に、国境地帯に位置するという特殊な事情が重なり、白頭山の詳しい情報はその知名度に比して意外と明らかにされていない。以前から、白頭山の頂上にあるカルデラ湖の天池にネッシーのような未知の生物が潜んでいるという与太話があるのも、そういった神秘性によるものだろう。

その白頭山で近年、精力的に進められている国際共同研究がある。テーマは「火山活動」。白頭山の巨大噴火の可能性を検討する研究だ。どこかで耳にされた方も多だろう。

1990年代、「白頭山は10世紀前半に巨大噴火を起こし、渤海(ハレ)王国が滅亡する遠因となった」

という仮説が唱えられた。そのセンセーショナルな内容は少なからぬ人々の関心をひき、様々なメディアに露出した。

事実、地質調査によると10世紀前半に白頭山が噴火を起こしていたのは明白で、軽石噴出を含む大規模な噴火、周囲数十kmに及ぶ火砕流が2回あったことが分かっている。白頭山一帯が焦土と化したことは想像に難くない。

当時、巨大噴火を起こした白頭山は、森林が残らず焼け落ち、噴出して落ちてきた軽石が1m以上堆積し、広大な火砕流跡に白っぽい岩石が露出している荒涼とした地帯となっていたと推測されている。それゆえに高麗人はこの山を「白頭山」と呼び始めたのだという説もある。

一方、歴史上の渤海王国の滅亡は926年1月、最後の国王である大諲譔(テ・インソ)が契丹(後の遼)に降伏した。建国間もない契丹に抗えず滅んだことをみれば、確かに渤海の国力は衰えていたのだろうと考えられる。もし、滅亡以前に白頭山

の噴火が起こっていたとすれば、それは渤海の衰亡に影響があったと言えるかもしれない。

しかし、白頭山の噴火時期は文献上で調べる限り、916年説から946年説まであって特定ができない。したがって渤海の滅亡後に噴火したという可能性も高く、白頭山噴火と渤海滅亡の関連性は立証に至っていない。今後の実地調査が待たれる。

さて、ひとたび注目を浴びたこの1000年前の大噴火だが、これが決して他人事ではないことが最近、明らかになってきた。



▲民族の聖地 白頭山

2002年から2005年にかけて、白頭山一帯で群発地震が急増し、一部建造物にも被害が出る事態となった。これをきっかけに白頭山に対する本格的な調査が進められ、地殻活動の活性化による隆起現象も確認されている。これらの現象が白頭山噴火の兆候であると指摘する声は大きい。

もし白頭山が噴火すれば、たとえ小規模であっても、周辺地域に大きな被害を与えるだろうと予測されている。前例を紐解けば、最後に白頭山が噴火したと考えられているのは1702年5月。『朝鮮王朝実録』肅宗実録には、咸鏡道の鏡城及び富寧からの報告が記されている。この時の噴火は比較的小規模だったが、白頭山から140km離れた鏡城で「天地が突然真っ暗になり、時折、黄色や赤色の光が煙とともに現れた。生ぐさい臭気があたりを満ち、火炉の中に居るようで、人々は熱さに堪えられなかった」と記録している。白頭山はひとたび噴火すれば恐ろしい被害をもたらす火山であったことがうかがえる。

今のところ、白頭山の火山活動は沈静化しているが、再び噴火する可能性は否定できない。総合的な災害対策が整備されることを願う。(好)

## ◆◆読書紹介◆◆

## 週末ソウルでちょっとほっこり

著者：下川裕治

朝日新聞出版／756円

この本の著者はアジアを中心に旅をしながら各国の歴史や街並み、風景などを本やネットで紹介しています。利用する交通機関は格安航空会社(LCC)に列車やバス、宿泊は安宿、いわゆるバックパッカーです。まだ日本でLCCが運行されていなかった頃、私は著者の本を通じて初めてLCCという航空会社があることを知り、今は札幌の実家に帰る際は必ず利用しています。

今回紹介する本は、著者の「週末旅シリーズ」として出版されました。例えばベトナムを紹介する「週末ベトナムでちょっと一服」、台湾を紹介する「週末台湾でちょっと一息」など、どのタイトルも癒される感じがします。

私は「いつか韓国も紹介されるだろう」と期待してきました。期待通り出版されたのが今回の本です。ソウルを紹介する言葉は「ちょっとほっこり」癒されます。



本の内容を紹介しますと、著者は何度もソウルを訪問し、そこで得た情報や人脈などを通じてソウルの街並みを紹介しています。バックパッカーですから高級な韓国料理を紹介するとか、高級なホテルに宿泊するとかではなく、紹介されるのはどれも庶民的です。

例えば地下鉄「鍾路3街」駅近くにある食堂、ここは「貝蒸し」が美味しいそうです。ほかに韓国人がお酒を飲む特徴(著者の表現では、どうしてそこまで飲むのか)。北岳山の歴史など、どれも「なるほどなあ」と思わせる内容です。

またソウル市内の薬局で売られている薬はよく効くと書いています。そういえばソウル市内には多くの薬局があり、私も過去に二日酔いでドリンクを買って飲んだら、よく効きました。もう何年もソウルに行っていないませんが、この本を読むと、なんとなく行った気分になります。(ソン)

## ◆◆行事案内◆◆

## 朴槿恵即時退陣・逮捕を求める

## キャンドルデモ in 大阪

日時：3月4日(土) 午後6時 集合  
午後6時10分 出発

集合場所：真田山公園

(JR鶴橋駅から下味原交差点を北に徒歩5分)

主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377

## 生野支部定例学習会

## 人物に見るウリ歴史シリーズ

## 第2回「夢陽(몽양) 呂運亨(유운亨)」

日時：3月12日(日) 午前11時～

場所：韓統連生野支部

大阪市生野区勝山南4-1-13

資料代：会員300円 一般500円

連絡先：090-4561-8414 (孫)

## 編集後記

朴槿恵弾劾をめぐる情勢が大詰めを迎えています。毎週末開かれているキャンドル集會も毎回、朴槿恵退陣・逮捕を訴えています。3月には結果が出ます。その内容は、次号のチャジュで詳しく。(ソン)

